



1967-1973

サッカー部30期の思い出



サッカーが好きだった

プロサッカーリーグ「Jリーグ」も開幕し、今はまさにサッカーブームのまっただ中である。我々30期が、六甲でサッカーにあけくれたのも、メキシコ五輪で全日本が3位に入った第1次サッカーブームと呼べる時期だった。

週3回の練習に飽きたらず、とにかくサッカーボールを蹴りたくて、早朝から競うようにして登校してボールを蹴ったこと。昼の休憩時間の混雑したグラウンドでのサッカーの試合は、クラスの者を巻き込んで毎日の日課となっていた。とにかくサッカーが好きで

好きでたまらない連中ばかりであった。

そんな仲間が、29期の先輩、31期の後輩とともに県大会の優勝という栄冠をかち取り、インターハイへ出場したことが六甲での6年間の最高の思い出かも知れない。

試合に勝つと色々な所に旅行(?)に行けると喜んでいて堀、強靱な足腰で敵陣を突破して行った木村、色々なフェイントを考えていたゲームメーカーの渡辺、冷静沈着なキャプテン永原、練習の虫森下、ゴールを死守した長谷川等々。

オーイみんな! まだサッカーを続けているか?

[神戸 弥]

